

泌尿器科手術について

泌尿器科 甲斐誠二

岡山赤十字病院でもロボット支援手術(da vinci)を導入しています。ロボット支援手術は従来の腹腔鏡手術による安全性を維持しつつ、人間の手以上の繊細さで手術を行うことが可能です。現在泌尿器科で前立腺癌、外科で大腸癌にロボット支援手術を行っており、今後適応症例を増やしていく予定です。

前立腺癌治療には手術、放射線療法、ホルモン療法の 3 つの大きな柱があります。その中でも、手術は手術適応のある患者にとっては入院や麻酔といった敷居はあるものの、術後の満足度は非常に高い治療となっています。



ロボット手術の様子

実は、いかにも手術してそうな術衣を着た人は助手です。

術者かというと手術室の隅の離れたところで箱に顔を突っ込んでいる人。

術者になるには certificate と、孤独に負けない精神力が必要です。技術は手振れ防止などでロボットが補ってくれます。

頻尿や尿意切迫を主訴とする過活動膀胱の罹患率は 40 歳以上の男女では 7 人に 1 人とされ、非常に多くの患者が悩まされている病態です。前立腺肥大症等の基礎疾患を有している方は基礎疾患の治療をまず行う必要があります。前立腺肥大症治療に対する手術療法も従来の内視鏡手術よりもさらに安全に行えるレーザー治療を導入し、多くは術後 2 日目に退院されています。

また、夜間頻尿を訴える方も多いですが、生活習慣病や併存症による夜間多尿が原因となっているケースがあります。排尿日誌をもとに患者自身にフィードバックしてもらうことで、生活習慣の是正や自身の内科的疾患に向き合うきっかけになることもあります。

PSA 高値、また排尿でお困り方がいらしたらご紹介ください。

R5 年 4 月発行